

健康福祉病院常任委員会活動評価総括表（案）

資料 1

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・ 現地を見ることが必要なので、県内調査をもう1回増やせると良い。
- ・ 県外調査の調査先（埼玉県、富山県）は今後活用できるものであり、良かった。
- ・ 神奈川県での調査で出た意見を条例検討会の視察でも活かすことができたので良かったのではないかな。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	4.0
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	3.9
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) [健福分と病院分のボリューム差異が大きい。]	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	2.9
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) [不慣れなため、うまく発言できなかった。]	
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。	4.3
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。	4.4
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	

項目	評価の視点	平均点
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。	—
	参考人から十分な調査を行うことが出来たか。	
	参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。	—
	公聴会では十分な調査を行うことが出来たか。	
	公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(8)施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。	3.6
	執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。	
	調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(9)調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	—
	「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

健康福祉病院常任委員会 活動計画（実績）書（平成27年5月～平成28年5月）

平成28年3月10日現在

1 所管調査事項

- ・保健衛生行政の推進について
- ・社会福祉及び社会保障の推進について
- ・地域医療対策について
- ・子ども及び青少年の育成について
- ・病院事業の運営について

2 重点調査項目

- (1) 少子化対策の推進について
- (2) 地域における医療と介護の体制について
- (3) 障がい者の自立と共生について
- (4) 貧困の連鎖解消の取組について

3 活動計画表

重点調査項目	平成27年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年 1月	2月	3月	4月	5月
(1) 少子化対策の推進について (2) 地域における医療と介護の体制について (3) 障がい者の自立と共生について (4) 貧困の連鎖解消の取組について	常任委員会 所管事項説明 (5/26)	常任委員会 議案の審査、所 管事項の調査等 予決分科会 補正予算等 (6/8, 18, 22)	県内調査 (7/23)	県内調査 (8/3) 県外調査 (8/26～28)		常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 決算認定、補 正予算等 (10/6, 8)	予決分科会 決算認定、当 初予算編成に 向けての基本 的な考え方 (11/5)	常任委員会 議案の審査、所 管事項の調査 等 予決分科会 補正予算等 (12/9, 11)		予決分科会 補正予算 (2/25)	常任委員会 議案の審査、所 管事項の調査等 予決分科会 当初予算、補正 予算等 (3/8, 10)		
執行部の主な予定		成果レポート (案)			三重県まち・ ひと・しごと 創生総合戦略 (最終案) みえ県民力ビ ジョン・行動 計画（中間案）	企業会計決算 一般会計、特 別会計決算 平成28年度経 営方針（案）	当初予算の考 え方	当初予算要求 状況 みえ県民力ビ ジョン・行動計 画（最終案）		当初予算案	平成28年度経 営方針		

4 県内外調査について

(1) 県内調査

- 7月23日（日帰り） 特別養護老人ホームや児童養護施設、名張版ネウボラの取組について調査しました。
- 8月3日（日帰り） 就労継続支援A型事業所、社会福祉法人と地域組織の連携による高齢者介護サービス、三重県立総合医療センターの取組について調査しました。

(2) 県外調査

- 8月26日～28日（2泊3日） 貧困の連鎖解消の取り組みにおける子どもへの教育支援（埼玉県）、年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒に身近な地域で福祉サービスを受けられるNPO法人の取組（富山県）、手話言語条例（神奈川県）などについて調査しました。

平成27年度の主な議会の取り組み（参考）

1 議員勉強会の開催

- ・第1回 「人口減少社会の移住・定住促進～地域における魅力ある生き方『半農半X』～」
塩見直紀 氏（半農半X研究所代表）
- ・第2回 「多様化する広報媒体と、その特徴を活かした効果的な広報」
北村啓司 氏（株式会社CAP プロデューサー）
- ・第3回 「地方創生と三重大学の役割」
駒田美弘 氏（三重大学学長）

2 みえ現場 de 県議会の開催

- ・第1回 「若者の声を県政に～地方創生と人口減少対策～」
- ・第2回 「鳥獣害に強い地域づくり」

3 人口減少対策調査特別委員会の設置

4 地方創生に関する政策討論会議の設置

5 三重県手話言語に関する条例検討会の設置

6 「成果レポート」に基づく今後の県政運営等に関する知事への申し入れ

7 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案などに関する知事への申し入れ

8 公共政策大学院からのインターンシップ実習生の受入れ